

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Pal膝折教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		令和8年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		令和8年2月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別指導・集団指導を行っていることで、一人一人の課題に合わせた細やかな支援が来ています。集団指導で困っていることを個別指導の中で振り返りが出来ること	集団指導・個別指導の両方を利用している方には、その都度集団での振り返りをしています。	個別指導・集団指導のみの利用の子どもたちに対しても、日常生活での困り感を聞き取り、どう過ごしたらいいのか、どう関わったらいいのかを考え、実践できる機会を設けていきます。
2	「楽しかった」「また、来たい」と子どもたち一人一人が思える活動作り。来るとホッとできる居場所作り	子どもたちの興味や関心に合わせるだけでなく、広げられるようなプログラムを考えています。集団活動でも、必要に応じて個別で話す機会を作るなど、困ったときは、話を聞いてくれる人がいる、という安心感につながるようになってきました。	子どもたちの興味、関心にアンテナを張り、それに共感していくことを大切にしています。それを柱に、受け止められている実感が持てるような機会を設けていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない	時間的な制約があること、近隣の学校から通所している子が、学校の知り合いと顔を合わせることを避けている事。	現在は公園に遊びに行く、夏休みにコンビニにお昼を買いに行く(集団活動のみ)なので、児童館(市民センター)が近くにあるなどの地の利も生かしながら、何かしらの地域交流が出来るようにしていきます。
2	ガイドラインやBCP、事故マニュアルなど、周知ができていない	面談時、契約時には伝えているものの、その他の伝えることが多いため、理解や定着につながりにくい	計画があることをPRをしていきます。また、訓練も公表し、参加を促していきます
3			